教材の利用について：このPDFは利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布、講座等での無断利用はできません。詳細：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0001
落葉樹の一般的な特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．一定の季節に葉を落とし、休眠期をもつ樹種が多い。

イ．一年中必ず同じ葉を保持する。

ウ．葉を落とすと必ず枯死する。

エ．根を持たず幹だけで吸水する。

答え・解説　正答：ア
ア：落葉樹は季節変化に伴い落葉し、温帯域では冬季に休眠するものが多い。
イ：常緑樹の特徴に近い。
ウ：落葉は生活環の一部であり枯死とは限らない。
エ：水分・養分は主に根系から吸収する。
総合解説：樹種の生理特性は植栽時期や維持管理方法を判断する基礎となる。

問題 0002
樹木材料の枝張りを確認する考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．徒長枝だけの長さで表す。

イ．樹冠の水平二方向の幅を測り、原則としてその平均値で表す。

ウ．地際から樹冠頂端までの高さで表す。

エ．幹の円周長だけで表す。

答え・解説　正答：イ
ア：徒長枝は通常算入しない。
イ：植栽工事共通仕様書では、枝張りは樹冠の水平二方向の平均値を基本としている。
ウ：これは樹高である。
エ：これは幹回りである。
総合解説：樹高・幹回り・枝張りを区別して材料規格を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0003
高木の幹回りを測定する際の一般的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．樹冠の最大幅を幹回りとする。

イ．根鉢の直径を幹回りとする。

ウ．地際から所定高さの幹周を測定し、分枝位置等に応じて測定位置を調整する。

エ．最も細い枝の周長を幹回りとする。

答え・解説　正答：ウ
ア：樹冠幅は枝張りである。

イ：根鉢寸法とは別項目である。

ウ：仕様書では所定高さで測り、分枝がある場合の扱いも定められている。

エ：主幹を対象とする。

総合解説：樹木材料の寸法規格は納入検査・出来形確認の基礎になる。

問題 0004
一年草と多年草の違いとして、最も適切なものはどれか。

ア．一年草は必ず木本である。

イ．多年草は一度も休眠しない。

ウ．一年草は種子を形成しない。

エ．一年草は通常一生育期で生活環を終え、多年草は複数年にわたり生育する。

答え・解説　正答：エ
ア：一年草は草本が中心である。

イ：多年草でも休眠する種類は多い。

ウ：多くは開花・結実して種子を形成する。

エ：生活環の長さによる基本的な区分である。

総合解説：生活環を踏まえて植替え頻度や年間管理を計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0005
日照を好む植物を建物北側の深い日陰へ植える場合に最も懸念されることはどれか。

ア．光不足により生育不良や開花不良が生じることがある。

イ．日陰では必ず根系が2倍に増える。

ウ．日照条件は植物生育に影響しない。

エ．日陰ほど全ての花木の花数が増える。

答え・解説　正答：ア
ア：植物の光要求量と植栽場所の環境条件が合わないと健全な生育を妨げる。

イ：そのような一般則はない。

ウ：光は光合成に必要である。

エ：樹種によっては開花が減る。

総合解説：樹種選定では日照・水分・土壌・気候への適合性を確認する。

問題 0006
植栽材料として健全な樹木を選ぶ際、最も適切なものはどれか。

ア．幹に大きな腐朽があっても葉があれば問題ない。

イ．樹形が良好で、病害虫や著しい損傷がなく、根系が健全なものを選ぶ。

ウ．根鉢が崩れて根が少ないほど良い。

エ．病害虫の発生が多いほど活着しやすい。

答え・解説　正答：イ
ア：腐朽は強度低下や衰弱の原因となる。

イ：植栽材料の品質は活着と将来の景観形成に直接影響する。

ウ：健全な根系は活着に不可欠である。

エ：病害虫被害は品質低下要因である。

総合解説：寸法だけでなく樹勢・樹形・根系・病害虫も確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0007
グラウンドカバープランツを用いる主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．大型樹木の主幹を支える構造材として使う。

イ．地下排水管の代わりに必ず用いる。

ウ．地表を低く被覆し、景観形成や表土保護、雑草抑制などを図る。

エ．舗装路盤の支持力を直接保証する。

答え・解説　正答：ウ
ア：構造材ではない。

イ：排水機能の代替ではない。

ウ：低い植物で地表を覆うことで修景と地表面管理に活用できる。

エ：路盤材ではない。

総合解説：地被植物は修景・表土保護・維持管理性を考えて選定する。

問題 0008
同じ樹種でも植栽地の気候条件が大きく異なる場合に、最も適切な考え方はどれか。

ア．樹種名が同じなら気候条件は無視できる。

イ．寒冷地では全ての常緑樹が必ず生育する。

ウ．温度は植栽後の生育に影響しない。

エ．耐寒性・耐暑性など地域の気候適応性を確認して材料を選ぶ。

答え・解説　正答：エ
ア：気候適応性は重要である。

イ：樹種により耐寒性は異なる。

ウ：温度は休眠・生長・凍害等に関係する。

エ：樹種名が同じでも地域条件への適応性を無視すると生育不良の原因になる。

総合解説：地域気候と樹種特性の適合を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0009
根系の主な役割として、最も適切なものはどれか。

ア．樹体を支持するとともに、水分・養分の吸収を担う。

イ．葉の代わりに光合成だけを行う。

ウ．幹の蒸散を完全に停止させる。

エ．花色だけを決定する器官である。

答え・解説　正答：ア
ア：根系は支持・吸収・貯蔵等の重要な役割をもつ。
イ：主な光合成器官ではない。
ウ：蒸散停止が目的ではない。
エ：根の単一機能で花色は決まらない。
総合解説：根系の健全性は植付け・移植・土壌管理の中心的評価項目である。

問題 0010
常緑広葉樹と落葉広葉樹を混植する際の管理上の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．全て同じ樹高になるため間隔は考慮しない。

イ．樹種ごとの生長速度・日照要求・樹冠形成を考慮して配置する。

ウ．常緑樹は光を必要としない。

エ．落葉樹は根を形成しない。

答え・解説　正答：イ
ア：生長特性は樹種ごとに異なる。
イ：混植では将来の樹冠競合や光環境を予測する必要がある。
ウ：常緑樹も光合成に光を必要とする。
エ：落葉樹も根系を形成する。
総合解説：完成時だけでなく成長後の樹冠・根系の競合を見込む。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0011
都市公園で生物多様性に配慮した植栽を行う際、最も適切なものはどれか。

ア．外来種であれば種類を問わず優先する。

イ．単一樹種だけを必ず全面に植える。

ウ．地域の自然条件や既存植生との調和を考え、適切な樹種構成を検討する。

エ．既存植生は全て除去してから計画する。

答え・解説　正答：ウ
ア：生態系影響を生じる外来種もある。
イ：目的に応じ多様性を確保することがある。
ウ：地域環境への適合と生態的な連続性を考慮することが重要である。
エ：既存の有用な植生を活かす検討も重要である。
総合解説：植栽は景観だけでなく地域生態系との関係も考慮する。

問題 0012
樹木の休眠期を移植時期の検討に利用する理由として、最も適切なものはどれか。

ア．休眠期には根が全て消失する。

イ．休眠期ならどの樹種も無条件で移植できる。

ウ．休眠期は水分管理が一切不要になる。

エ．樹種によっては蒸散や生理活動が低下する時期で、移植による負担を抑えやすい。

答え・解説　正答：エ
ア：根は消失しない。
イ：適期は樹種・気候で異なる。
ウ：移植後の乾燥防止は依然重要である。
エ：落葉樹などでは休眠期が移植適期となることが多いが樹種・地域条件による。
総合解説：移植適期は樹種・気候・生理状態を踏まえて判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0013
高木の植穴を掘削した後の処置として、最も適切なものはどれか。

ア．生育に有害な夾雑物を除き、穴底をほぐして根が伸長しやすい状態にする。

イ．穴底を極端に締め固める。

ウ．廃材を穴底へ詰める。

エ．水が溜まっていても排水を確認しない。

答え・解説　正答：ア
ア：仕様書では有害物を除去し、底部を柔らかく耕すことが基本である。

イ：根の伸長や排水を阻害する。

ウ：生育障害や沈下の原因となる。

エ：滞水は根腐れ等の原因となる。

総合解説：植穴は根の生育・排水・支持を考えて整備する。

問題 0014
樹木の植付け深さとして、最も適切なものはどれか。

ア．幹の根元を完全に地中へ埋めるほど深い方がよい。

イ．移植前の地際を基準にし、深植え・浅植えを避ける。

ウ．根鉢上面を大きく地上へ露出させる。

エ．樹種に関係なく一律1m埋める。

答え・解説　正答：イ
ア：深植えは根元の通気不良等の原因になる。

イ：植付け深さは根元部の呼吸や支持、排水に関係する。

ウ：浅植えは乾燥や不安定化を招く。

エ：植付け深さは根鉢・現地条件に応じる。

総合解説：移植前の地際を確認し適正な深さで植える。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0015
植付け時の水極めの主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．根鉢を浮かせる。

イ．根の周囲に大きな空洞を残す。

ウ．根鉢周囲へ土をなじませ、大きな空隙を減らして根と土の接触を良くする。

エ．根を洗い流して全て裸根にする。

答え・解説　正答：ウ
ア：植付けの安定を損なう。

イ：乾燥や支持不良の原因となる。

ウ：適切な水極めは埋戻し土を根鉢へ密着させ活着を助ける。

エ：根鉢樹木では根系を損傷する。

総合解説：水極めは土と根鉢のなじみを確保する施工方法の一つである。

問題 0016
植付け後に支柱を設置する主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．幹を締め付けて肥大生長を止める。

イ．樹木を常に傾斜させる。

ウ．根鉢を土から浮かせる。

エ．風等による樹体・根鉢の過度な動揺を抑え、活着を助ける。

答え・解説　正答：エ
ア：結束部の食い込みは損傷原因となる。

イ：適正姿勢の保持に用いる。

ウ：根鉢は適切に地盤へ据える。

エ：根が周囲土壌へ定着するまで樹体を安定させる役割がある。

総合解説：支柱は根系の定着まで樹体を安定させる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0017
大径木を移植する前に根回しを行う目的として、最も適切なものはどれか。

ア．移植に先立ち細根の発生を促し、掘取り後の吸水能力を確保しやすくする。

イ．全ての根を切断して枯死させる。

ウ．幹を太くすることだけを目的とする。

エ．土壌中の水を完全に排除する。

答え・解説　正答：ア
ア：根回しは移植時に残せる根鉢内へ細根を発生させるために行う。

イ：根系を再形成させるのが目的である。

ウ：主目的は活着促進である。

エ：排水工ではない。

総合解説：大径木移植では事前準備により根系と樹冠のバランスを整える。

問題 0018
根鉢を運搬するときの取扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア．根鉢を落下させて土を除去する。

イ．根鉢を崩さず乾燥や衝撃を防ぎ、根系を保護して運搬する。

ウ．長時間直射日光にさらす。

エ．幹だけを吊って根鉢を引きずる。

答え・解説　正答：イ
ア：根の損傷や乾燥を招く。

イ：根鉢の崩壊・乾燥は活着率を低下させる。

ウ：細根が乾燥し活着不良につながる。

エ：幹・根鉢の損傷につながる。

総合解説：掘取りから植付けまで一貫して根系を保護する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0019
樹木の植付け方向を決める際、最も適切なものはどれか。

ア．樹形を無視して任意に決める。

イ．根鉢の重い側だけで決める。

ウ．設計図書の指定、樹形、見え方、周辺条件を確認して方向を決める。

エ．全ての樹木を必ず北向きにする。

答え・解説　正答：ウ
ア：景観品質や機能を損なう。
イ：方向決定の基準として不十分。
ウ：仕様書では植付け位置・方向を設計図書等に従うのが基本である。
エ：一律方向指定の一般則はない。
総合解説：造園工事では景観方向も出来形の一部となる。

問題 0020
植栽適期外に樹木を植え付ける必要が生じた場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．適期外でも活着条件は全く変わらない。

イ．葉量を無条件に全て除去する。

ウ．灌水を停止する。

エ．樹種・気象条件・樹勢を踏まえ、乾燥防止や養生など追加対策を検討する。

答え・解説　正答：エ
ア：不利な気象条件となる場合がある。
イ：過度な剪除は樹勢低下を招く。
ウ：適切な水分管理が重要である。
エ：適期外施工では蒸散・根の活性・気温等への配慮が必要である。
総合解説：適期外施工ではリスクを評価して追加養生を行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0021
植穴へ土壌改良材を使用する場合の施工として、最も適切なものはどれか。

ア．指定量を客土または埋戻し土と十分に混合して使用する。

イ．根の一箇所に高濃度で固める。

ウ．瓦礫や雑草を残したまま投入する。

エ．指定量を確認せず多いほど良いとする。

答え・解説　正答：ア
ア：仕様書では土壌改良材・肥料を土と十分混ぜ合わせる。

イ：濃度障害の原因となる。

ウ：植栽基盤の品質を損なう。

エ：過剰施用は生育障害につながる。

総合解説：土壌改良材は種類・量・混合方法を設計条件に合わせる。

問題 0022
植付け直後の灌水について、最も適切なものはどれか。

ア．雨が一度降れば以後確認不要。

イ．根鉢と周囲土壌の水分状態を確認し、活着に必要な水分を確保する。

ウ．常に根鉢を完全水没させる。

エ．葉が萎れても灌水しない。

答え・解説　正答：イ
ア：天候・土壌に応じ継続確認が必要。

イ：移植直後は根の吸水能力が低下しているため乾燥防止が重要である。

ウ：過湿・酸欠による根傷みを招く。

エ：水分ストレスの可能性を確認すべきである。

総合解説：植付け後は過乾燥と過湿の双方を避ける。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0023
維持管理剪定で優先して除去を検討する枝として、最も適切なものはどれか。

ア．健全な主枝を理由なく全て除去する。

イ．新梢を毎回全て切除する。

ウ．枯れ枝、折損枝、病害枝など安全性や健全性に問題のある枝。

エ．花芽だけを無条件に全て除去する。

答え・解説　正答：ウ
ア：樹冠構造を損なう。

イ：樹勢低下につながる。

ウ：危険枝や病害枝の除去は利用者安全と樹木健全性に直結する。

エ：管理目的に応じた剪定が必要。

総合解説：剪定は目的を明確にし樹形・樹勢・安全性を総合判断する。

問題 0024
太枝を剪定する際の切断位置として、最も適切な考え方はどれか。

ア．幹本体まで深くえぐり取る。

イ．長い切り残しを必ず残す。

ウ．切断面を裂いて面積を広げる。

エ．枝の付け根の組織を不必要に傷つけず、適切な位置で切断する。

答え・解説　正答：エ
ア：幹を損傷し腐朽リスクを高める。

イ：枯れ込みや腐朽の起点になる。

ウ：傷口を大きくするのは不適切。

エ：過度なフラッシュカットや長すぎる切り残しを避ける。

総合解説：剪定切断は幹や残す枝を傷めないように行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0025
一度に樹冠を過度に剪定した場合に生じ得る問題として、最も適切なものはどれか。

ア．葉量減少による樹勢低下や徒長枝の多発などを招くことがある。

イ．必ず根量が増え健全性が向上する。

ウ．病害が完全になくなる。

エ．剪定量と樹勢は無関係である。

答え・解説　正答：ア
ア：樹冠の大幅削減は光合成量と樹体内のバランスへ影響する。
イ：過剪定は根系とのバランスを崩す。
ウ：そのような効果はない。
エ：剪定強度は樹勢へ影響する。
総合解説：強剪定はその後の樹勢・樹形を考えて判断する。

問題 0026
都市公園の樹木の日常点検で確認すべき事項として、最も適切なものはどれか。

ア．樹木の安全性は外観から確認しない。

イ．枯れ枝、ぶら下がり枝、不自然な傾斜など、目視で確認できる異常を確認する。

ウ．異常を発見しても記録しない。

エ．利用区域の樹木は点検対象外とする。

答え・解説　正答：イ
ア：日常点検では目視が基本的手段である。
イ：国交省指針では日常点検で目視可能な倒伏・落枝リスク等を確認する。
ウ：記録・措置につなげることが重要。
エ：利用者影響があるため重要な対象である。
総合解説：点検は異常の早期発見と必要な診断・措置へつなげるために行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0027
樹木点検で腐朽やキノコの発生など重大な異常が確認された場合、最も適切な対応はどれか。

ア．見た目だけで安全と断定する。

イ．利用者が多い場所でも放置する。

ウ．必要に応じ専門技術者による診断を行い、安全措置を検討する。

エ．異常部を土で隠す。

答え・解説　正答：ウ
ア：内部腐朽等は専門評価が必要な場合がある。
イ：倒木・落枝リスクへの対応が必要。
ウ：指針では内容に応じ専門技術者の協力を得ることが望ましい。
エ：危険性の把握にならない。
総合解説：点検結果に応じ診断・剪定・立入制限・撤去等を検討する。

問題 0028
植付け時の支柱について、樹木が十分活着した後の管理として最も適切なものはどれか。

ア．成長しても結束を締め続ける。

イ．支柱の腐朽を確認しない。

ウ．活着後は一切点検しない。

エ．結束部や支柱の必要性を点検し、不要になれば適切に撤去する。

答え・解説　正答：エ
ア：幹を締め付け損傷する。
イ：倒壊等につながる。
ウ：維持管理が必要である。
エ：長期間放置すると幹への食い込みや生長阻害を生じることがある。
総合解説：支柱は活着状況と安全性を見て管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0029
施肥管理として、最も適切なものはどれか。

ア．樹種・生育状態・土壌条件を確認し、必要量を適切な時期・方法で施用する。

イ．多いほど必ず樹勢が向上する。

ウ．土壌や樹勢を一切考慮しない。

エ．根の一点へ高濃度肥料を集中させる。

答え・解説　正答：ア
ア：肥料は不足だけでなく過剰も生育障害や環境負荷の原因となる。
イ：過剰施肥は根傷み等を招く。
ウ：必要性を判断して施用する。
エ：濃度障害を起こすことがある。
総合解説：施肥は目的・量・時期・施用位置を管理する。

問題 0030
病害虫管理の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．害虫を1匹見つけたら全域へ最大量の薬剤を散布する。

イ．発生状況を把握し、被害程度や対象に応じて適切な防除方法を選択する。

ウ．病害虫の種類を確認せず同じ薬剤だけを使う。

エ．被害が拡大しても観察しない。

答え・解説　正答：イ
ア：必要性・使用基準を無視している。
イ：予防・観察・物理的防除・薬剤等を必要に応じ組み合わせる。
ウ：対象に適した防除が必要。
エ：早期把握が重要である。
総合解説：樹木健全性と利用者・環境への影響を両立させる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0031
植栽基盤の物理性を改善する目的として最も適切なものはどれか。

ア．土壌の色だけを変える。

イ．土を完全に無孔隙にする。

ウ．根の伸長に必要な通気性・透水性・保水性などを改善する。

エ．根が進入できない硬さにする。

答え・解説　正答：ウ
ア：色変更は主目的ではない。
イ：根の呼吸・排水を阻害する。
ウ：根域の空気と水のバランスを整えることが物理性改善の中心である。
エ：根系発達を妨げる。
総合解説：植栽基盤は根の生育に必要な水・空気・土壌硬度を整える。

問題 0032
土壌pHを確認する主な理由として最も適切なものはどれか。

ア．土の体積だけを求めるため。

イ．土壌硬度だけを示すため。

ウ．排水管の径を決める唯一の値だから。

エ．養分の利用性や植物の適応性に影響するため。

答え・解説　正答：エ
ア：pHは酸性・アルカリ性の指標である。
イ：硬度とは別の性質である。
ウ：排水設計は別途検討する。
エ：pHは養分の溶解性や植物の生育適性に関係する。
総合解説：土壌化学性の確認ではpHを植物適性と関連づけて判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0033
過度に締め固められた植栽土壌で最も懸念されることはどれか。

ア．通気・透水性が低下し、根の伸長が阻害されること。

イ．必ず保水性だけが理想的になる。

ウ．根が抵抗なく伸びる。

エ．酸素供給が必ず増える。

答え・解説　正答：ア
ア：土壌圧密は根域環境を悪化させる。
イ：過度な圧密は排水・通気を悪化させる。
ウ：硬度が高いと根の伸長が妨げられる。
エ：孔隙減少により酸素供給は低下しやすい。
総合解説：施工時の重機踏圧などによる圧密にも注意する。

問題 0034
完熟した有機質資材を土壌改良に用いる効果として最も適切なものはどれか。

ア．必ず排水を完全に止める。

イ．土壌の団粒化や保水・保肥性の改善に寄与することがある。

ウ．土壌中の生物活動を必ずゼロにする。

エ．どの土壌でも量に上限なく投入する。

答え・解説　正答：イ
ア：適切な団粒構造は水・空気の移動に寄与する。
イ：適切な有機物は物理性・化学性・生物性の改善に利用される。
ウ：有機物は微生物活動の基質にもなる。
エ：過剰施用や未熟資材は障害を招く。
総合解説：有機質資材は成熟度と使用量を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0035
肥料の三要素として一般に扱われる組合せはどれか。

ア．鉄・砂・粘土。

イ．酸素・水素・二酸化炭素。

ウ．窒素・リン酸・カリ。

エ．石灰・礫・腐葉土。

答え・解説　正答：ウ
ア：肥料三要素ではない。

イ：肥料三要素の組合せではない。

ウ：植物栄養の基本となる主要三要素である。

エ：肥料三要素ではない。

総合解説：肥料成分の基礎としてN・P・Kを区別する。

問題 0036
植栽基盤の排水性が極端に悪い場合、最も適切な改善の考え方はどれか。

ア．水が溜まるほど全樹種に適するので放置する。

イ．表面だけ乾いていれば地下の滞水は無視する。

ウ．排水口を全て閉塞する。

エ．原因を確認し、排水層・暗渠・土壌構造改善など必要な対策を選ぶ。

答え・解説　正答：エ
ア：過湿は多くの樹種で根傷みを招く。

イ：根域の水分状態が重要である。

ウ：滞水を悪化させる。

エ：滞水原因が地形・土質・地下水等のどこにあるかを把握して対策する。

総合解説：排水不良は原因を特定して構造的に改善する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0037
建設工事で発生した良質な表土の扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア．植栽利用に適する場合は保全・仮置きし、再利用を検討する。

イ．他の建設廃材と混ぜて必ず廃棄する。

ウ．油で汚染してもそのまま使う。

エ．締固めて長期間水没させる。

答え・解説　正答：ア
ア：表土は有機物や微生物等を含み植栽基盤資源として有用な場合がある。

イ：有効利用できる資源を失う。

ウ：汚染土の利用は不適切である。

エ：品質劣化につながる。

総合解説：表土保全は資源循環と植栽品質の双方に有効である。

問題 0038
土壌分析を行う目的として最も適切なものはどれか。

ア．樹木の樹高だけを測る。

イ．pHや養分状態などを把握し、必要な改良・施肥を判断する。

ウ．遊具の強度を確認する。

エ．舗装の平坦性だけを測定する。

答え・解説　正答：イ
ア：土壌分析の対象ではない。

イ：現状を数値で把握することで過不足の少ない改良計画が立てられる。

ウ：施設点検とは別である。

エ：土壌分析ではない。

総合解説：土壌改良は分析結果と植物要求を照合して行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0039
酸性が強すぎる土壌を改良する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．分析せず石灰を無制限に投入する。

イ．pHは植物生育に関係しない。

ウ．対象植物と分析結果を踏まえ、必要に応じ石灰質資材等でpH調整を検討する。

エ．酸性土は必ず全植物に最適である。

答え・解説　正答：ウ
ア：過剰施用でアルカリ化等を招く。
イ：多くの植物で重要な条件である。
ウ：pH調整は植物適性と土壌緩衝能を考慮して行う。
エ：適正pHは植物により異なる。
総合解説：pH調整は目標値と資材量を管理して行う。

問題 0040
未熟な有機質資材を大量に根域へ混入する場合の問題として最も適切なものはどれか。

ア．必ず即座に最良の土壌になる。

イ．根への影響は全くない。

ウ．土壌中の微生物が全て消える。

エ．分解過程で酸素消費や窒素飢餓、発熱などの生育障害を生じることがある。

答え・解説　正答：エ
ア：成熟度確認が必要である。
イ：分解過程が根へ影響し得る。
ウ：微生物分解が活発になる場合がある。
エ：未熟資材は安定しておらず根域環境を悪化させることがある。
総合解説：有機質資材は品質・成熟度を確認して使用する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0041
植栽基盤の有効土層を確保する理由として最も適切なものはどれか。

ア．根系が伸長し、水分・養分を確保できる土壌量を持たせるため。

イ．根を表面だけに集中させるため。

ウ．舗装厚を増やすため。

エ．地下水を必ず地表へ上げるため。

答え・解説　正答：ア
ア：樹木の大きさや特性に応じた根域容量が必要である。
イ：十分な根域を確保するのが目的である。
ウ：植栽基盤の目的ではない。
エ：水位上昇が目的ではない。
総合解説：根域容量は将来の樹木生育を左右する。

問題 0042
土壌改良材を使用する前に最も重要な確認事項はどれか。

ア．商品名だけで使用量を決める。

イ．現地土壌の状態と改良目的を把握し、材料の種類・使用量を決めること。

ウ．多量に使うほど必ずよい。

エ．設計図書の指定量を無視する。

答え・解説　正答：イ
ア：現地条件を無視している。
イ：改良材は万能ではなく問題点に合った選定が必要である。
ウ：過剰施用は障害を招くことがある。
エ：仕様・設計条件の確認が必要である。
総合解説：改良前に問題点を特定し、必要な資材だけを使う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0043
植栽基盤に瓦礫や生育阻害物が混入している場合、最も適切な対応はどれか。

ア．そのまま根鉢に密着させる。

イ．見えないよう土で覆うだけにする。

ウ．植付け前に除去し、根の生育に適した基盤を整える。

エ．根が避けるため問題ないと判断する。

答え・解説　正答：ウ
ア：根系発達や排水を阻害する。

イ：問題を残したままになる。

ウ：仕様書でも瓦礫・塵芥・雑草等を除去して地盤整備する。

エ：根域容量が減り生育障害の原因となる。

総合解説：植付け前の地盤整備で阻害物を除く。

問題 0044
土壌の団粒構造が植栽基盤に望ましい理由として、最も適切なものはどれか。

ア．孔隙を完全になくすため。

イ．根の伸長を止めるため。

ウ．土壌水分を常にゼロにするため。

エ．大小の孔隙が形成され、通気・透水・保水のバランスを取りやすい。

答え・解説　正答：エ
ア：団粒化は適度な孔隙を形成する。

イ：むしろ根の伸長に有利である。

ウ：適度な保水性も確保する。

エ：団粒構造は根域に必要な水と空気の共存に有利である。

総合解説：良好な団粒構造は植栽土壌の重要な品質要素である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0045
植栽地で表面排水を確保する基本的な方法として最も適切なものはどれか。

ア．地表面へ適切な勾配を設け、雨水を排水先へ導く。

イ．凹部へ水を集中させ長期間滞留させる。

ウ．排水先を設けず勾配だけ大きくする。

エ．全ての地表面を逆勾配にする。

答え・解説　正答：ア
ア：地表滞水を防ぐには排水方向と集水先を計画する。
イ：根域の過湿やぬかるみを招く。
ウ：安全な流下先が必要である。
エ：施設や植栽地へ水が流入する。
総合解説：表面排水は勾配と排水先を一体で計画する。

問題 0046
植栽地の暗渠排水が必要となる代表的な条件はどれか。

ア．乾燥が激しく排水過多の砂地だけ。

イ．透水性が低く、根域に地下水や雨水が滞留しやすい場合。

ウ．透水性が良好な場所に必ず設置する。

エ．全ての植栽地に同じ密度で設置する。

答え・解説　正答：イ
ア：保水対策が必要な場合がある。
イ：地下排水は根域の過湿を改善する手段の一つである。
ウ：必要性を評価して設ける。
エ：土壌・地形条件に応じる。
総合解説：暗渠排水は滞水原因と根域条件を確認して設計する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0047
暗渠排水管の周囲にフィルター材を設ける主な目的として最も適切なものはどれか。

ア．排水管へ土粒子を積極的に流入させる。

イ．水を一切通さない層を作る。

ウ．細粒土の流入による目詰まりを抑えながら排水を確保する。

エ．管を地表へ浮上させる。

答え・解説　正答：ウ
ア：閉塞の原因になる。
イ：排水機能を失う。
ウ：適切なフィルターは排水機能の長期維持に役立つ。
エ：フィルターの目的ではない。
総合解説：暗渠は管だけでなく周囲材の選定も重要である。

問題 0048
根域の長期的な滞水によって生じやすい障害として最も適切なものはどれか。

ア．根の呼吸が必ず活発になる。

イ．全樹種の生長が促進される。

ウ．土壌構造に一切影響しない。

エ．土壌中の酸素不足により根が衰弱・腐敗すること。

答え・解説　正答：エ
ア：酸素不足で呼吸が阻害される。
イ：過湿耐性は樹種により異なる。
ウ：過湿は土壌環境にも影響する。
エ：多くの陸生植物では根呼吸に酸素が必要である。
総合解説：排水不良は根の酸欠を通じて生育障害を起こす。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0049
植付け直後の樹木の灌水管理として最も適切なものはどれか。

ア．土壌・根鉢の乾燥状態を確認し、活着まで適切な水分を維持する。

イ．毎日必ず同じ水量を与える。

ウ．根鉢が乾燥しても灌水しない。

エ．常時水没させる。

答え・解説　正答：ア
ア：移植後は根の吸水能力が十分でないため水分管理が重要である。

イ：降雨や土壌状態を反映できない。

ウ：水分ストレスが強まる。

エ：根の酸欠を招くことがある。

総合解説：灌水は天候・土壌・樹種・活着状況に応じて調整する。

問題 0050
自動灌水設備を計画する際に最も適切なものはどれか。

ア．全エリアを同じ水量に固定する。

イ．植物の水要求、土壌、日照、散水範囲を考慮して系統・時間を設定する。

ウ．雨天時も必ず最大量で散水する。

エ．散水範囲が舗装だけでも調整しない。

答え・解説　正答：イ
ア：必要量は条件により異なる。

イ：必要水量は植栽条件により異なるためゾーニングが重要である。

ウ：過灌水と水浪費につながる。

エ：有効な根域へ給水する必要がある。

総合解説：灌水設備は植栽条件に応じて系統分けする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0051
ドリップ灌水の特徴として最も適切なものはどれか。

ア．必ず広場全体を豪雨のように散水する。

イ．配管や吐出口の目詰まり確認は不要。

ウ．根元付近へ比較的少量の水を局所的に供給しやすい。

エ．水圧や流量は設計に関係しない。

答え・解説　正答：ウ
ア：局所灌水の特徴と異なる。

イ：維持管理が必要である。

ウ：蒸発・飛散を抑えながら必要箇所へ給水しやすい方式である。

エ：均等灌水には圧力・流量設計が必要。

総合解説：ドリップ灌水は局所給水に適するが目詰まり管理が必要である。

問題 0052
灌水量を決めるとき、最も適切な判断材料はどれか。

ア．暦の日付だけ。

イ．樹木の幹色だけ。

ウ．施工者の都合だけ。

エ．土壌水分、天候、植物の生育段階、根域深さなど。

答え・解説　正答：エ
ア：天候や土壌条件を反映できない。

イ：水分状態の判断として不十分である。

ウ：植物の必要条件を優先する。

エ：水要求量は固定値ではなく環境と植物状態で変化する。

総合解説：灌水量は現場条件を観察して調整する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0053
園路脇の植栽地へ舗装面から大量の雨水が流れ込む場合の対応として最も適切なものはどれか。

ア．集水・排水経路を見直し、植栽基盤が長時間冠水しないよう調整する。

イ．植栽地を常時冠水させる。

ウ．根元をコンクリートで密閉する。

エ．流入量を確認せず植栽だけ追加する。

答え・解説　正答：ア
ア：舗装と植栽地の高低差・集水条件を一体的に確認する。

イ：過湿障害を生じる可能性が高い。

ウ：通気・浸透を阻害する。

エ：原因対策にならない。

総合解説：周辺舗装からの流入も含め根域排水を設計する。

問題 0054
散水設備の冬季管理として最も適切な考え方はどれか。

ア．凍結しても設備には影響しない。

イ．凍結が予想される地域では、配管や機器の凍結防止・水抜き等を検討する。

ウ．冬季ほど常に最大圧力をかける。

エ．地域気候は設備管理に関係しない。

答え・解説　正答：イ
ア：破損の原因となる。

イ：寒冷地では凍結膨張により配管・バルブ等が損傷することがある。

ウ：凍結対策にはならない。

エ：気温条件は重要である。

総合解説：灌水設備も地域気候を踏まえて維持管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0055
法面緑化の主な目的として最も適切なものはどれか。

ア．不安定な法面の深部すべりを植生だけで必ず止める。

イ．排水施設を不要にする。

ウ．植物被覆による侵食防止と景観・環境の回復を図ること。

エ．法面の勾配を必ず急にする。

答え・解説　正答：ウ
ア：構造的安定が不足する場合は別の安定工が必要。
イ：湧水・表面水対策は別途重要である。
ウ：法面緑化は表面侵食を抑え周辺環境との調和を図る。
エ：急勾配化が目的ではない。
総合解説：法面緑化は表面保護と環境回復を担う。

問題 0056
植生基材吹付工の吹付厚を決める際、考慮すべき条件として最も適切なものはどれか。

ア．施工者の経験だけで一律に決める。

イ．法面方位だけで全て決める。

ウ．導入植物は吹付厚に関係しない。

エ．地山状態、降水量、法面勾配、導入植物など。

答え・解説　正答：エ
ア：現地条件を反映する必要がある。
イ：複数条件の評価が必要である。
ウ：根系や生育基盤要求が影響する。
エ：国交省技術資料ではこれらの条件から必要吹付厚を評価する。
総合解説：吹付厚は現地条件と緑化目標を踏まえて設定する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0057
植生基材吹付工に金網張工を併用する主な効果として最も適切なものはどれか。

ア．生育基盤の滑落や雨滴・流下水による侵食を抑えること。

イ．地下水を完全に止める。

ウ．法面の土圧を全て金網だけで支持する。

エ．植物根の生長を完全に遮断する。

答え・解説　正答：ア
ア：急勾配等では金網により吹付基盤の保持力を高める。

イ：止水工ではない。

ウ：大きな不安定土塊には構造的対策が必要。

エ：植物生育を前提とする工法である。

総合解説：緑化基礎工は生育基盤の保持と侵食防止を助ける。

問題 0058
法面に湧水が多い場合の緑化施工として、最も適切な考え方はどれか。

ア．湧水量に関係なく種子だけを散布する。

イ．排水・安定対策を検討したうえで、条件に適した緑化工を選ぶ。

ウ．排水を塞いで水圧を高める。

エ．水が多いほど全工法に有利と判断する。

答え・解説　正答：イ
ア：生育基盤が維持できない場合がある。

イ：湧水は基盤流亡や法面不安定化を招くため緑化だけで処理しない。

ウ：法面安定を悪化させる。

エ：過剰水分は施工・生育に不利である。

総合解説：法面緑化では排水と安定性を先に確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0059
在来木本類を導入する法面緑化で種子配合を検討する際、適切な項目はどれか。

ア．施工者の年齢、機械の色、工事費だけ。

イ．法面の写真枚数だけ。

ウ．導入樹種、発生期待本数、播種量。

エ．種子の種類を確認せず重量だけ決める。

答え・解説　正答：ウ
ア：植生成立に関係する項目ではない。

イ：種子配合の設計条件ではない。

ウ：国交省技術資料では在来木本類の種子配合でこれらを設定する。

エ：樹種特性と期待成立本数を考える必要がある。

総合解説：種子配合は緑化目標から逆算して設定する。

問題 0060
法面緑化で導入植物を選ぶ際、最も適切なものはどれか。

ア．発芽が速い1種類だけをどの地域でも使う。

イ．周辺植生は一切確認しない。

ウ．生育基盤条件は植物選定に関係しない。

エ．気候・土質・勾配・周辺植生・緑化目標を踏まえて選ぶ。

答え・解説　正答：エ
ア：地域適応性を無視している。

イ：自然回復や景観調和に重要である。

ウ：植物ごとに適地条件が異なる。

エ：現場環境に適合し目標植生へつながる植物を選定する。

総合解説：導入植物は地域性と施工条件の双方に適合させる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0061
盛土法面に降雨水が集中してガリ侵食が生じている場合、最も適切な対応はどれか。

ア．排水経路を整え、必要な表面保護・緑化工を組み合わせる。

イ．侵食溝へさらに水を集める。

ウ．排水を考えず種子を追加するだけ。

エ．法肩から水を自由落下させる。

答え・解説　正答：ア
ア：侵食原因である集中流水を処理しなければ植生だけでは再発しやすい。

イ：侵食を悪化させる。

ウ：原因対策にならない。

エ：侵食を促進する。

総合解説：法面緑化は表面水処理と組み合わせて機能する。

問題 0062
法面そのものにすべりの危険がある場合、緑化工の位置づけとして最も適切なものはどれか。

ア．植生工だけで全てのすべりを必ず止める。

イ．必要な法面安定工を先に検討し、そのうえで緑化を組み合わせる。

ウ．安定性を確認せず植生だけ施工する。

エ．法面が崩壊してから安定計算を行う。

答え・解説　正答：イ
ア：地盤安定の検討が必要である。

イ：植生は表層保護に有効だが大規模な地盤不安定を単独で解決する工法ではない。

ウ：安全性を確保できない。

エ：施工前に評価すべきである。

総合解説：安定性を確保したうえで緑化による表面保護を行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0063
園路舗装を選定する際に最も適切な考え方はどれか。

ア．色だけで選ぶ。

イ．最も硬い材料を全ての場所に使う。

ウ．利用形態、荷重、排水、景観、維持管理性などを総合して選ぶ。

エ．排水条件を考慮しない。

答え・解説　正答：ウ
ア：構造・安全・維持管理条件が不足する。

イ：利用目的や景観・環境条件に応じる。

ウ：公園園路は歩行者中心でも管理車両利用等を含め条件が異なる。

エ：不陸・ぬかるみ等の原因になる。

総合解説：園路舗装は利用条件と維持管理を含めて選定する。

問題 0064
園路の路盤施工で締固めが重要な理由として最も適切なものはどれか。

ア．路盤をできるだけ軟らかくするため。

イ．表層の色を濃くするため。

ウ．排水を必ず完全に止めるため。

エ．所要の支持力と均一性を確保し、沈下や不陸を抑えるため。

答え・解説　正答：エ
ア：支持力低下につながる。

イ：締固めの目的ではない。

ウ：排水性は別の設計条件である。

エ：路盤の密実性は舗装の耐久性・平坦性に影響する。

総合解説：路盤の締固め不足は舗装の沈下・不陸につながる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0065
広場舗装に水たまりが発生しやすい場合、最も適切な改善の考え方はどれか。

ア．表面勾配、排水ます、排水経路を確認して滞水原因を改善する。

イ．くぼみをさらに深くする。

ウ．排水ますを高い位置へ移すだけ。

エ．表層だけ塗装して排水は変えない。

答え・解説　正答：ア
ア：広場は面積が大きいため適切な勾配と集水計画が重要である。

イ：滞水が増える。

ウ：集水できない可能性がある。

エ：根本原因の改善にならない。

総合解説：広場排水は地表面形状と排水施設を一体で確認する。

問題 0066
透水性舗装の特徴として最も適切なものはどれか。

ア．どんな路床でも排水設計が不要になる。

イ．雨水を舗装体内へ浸透させ、表面流出の抑制に寄与する。

ウ．表面に水を全く通さない。

エ．維持管理なしで透水性が永久に一定である。

答え・解説　正答：イ
ア：地下条件によっては排水対策が必要である。

イ：透水性能を活かすには路盤・路床・排水条件も適切である必要がある。

ウ：不透水舗装の説明である。

エ：目詰まり等で性能低下することがある。

総合解説：透水性舗装は舗装全体と下層条件を含めて機能を評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0067
移動等円滑化園路の出入口の幅について、基準の基本値として正しいものはどれか。

ア．30cm以上。歩行者1人の通行だけを想定した幅として扱う。

イ．50cm以上。車いすの円滑な通行条件を満たす基本幅として扱う。

ウ．120cm以上。移動等円滑化園路の出入口について原則の基本幅とする。

エ．70cm以上。一般的な室内建具の目安をそのまま公園園路に適用する。

答え・解説　正答：ウ
ア：誤り。30cmでは車いす等の通行に必要な幅を確保できない。

イ：誤り。50cmは基準の基本値ではない。

ウ：正しい。特定公園施設の移動等円滑化基準では出入口幅は原則120cm以上とされる。

エ：誤り。別用途の寸法感覚をそのまま適用できない。

総合解説：数値基準は例外条件と区別して覚える。

問題 0068
移動等円滑化園路の出入口で段差が生じる場合の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．段差を大きくして注意喚起する。

イ．階段だけ設ければよい。

ウ．案内表示だけで段差対策を省略する。

エ．原則として通行に支障となる段を設けず、やむを得ない場合は傾斜路を併設する。

答え・解説　正答：エ
ア：通行障害になる。

イ：車いす通行を確保できない。

ウ：物理的な移動障害は解消されない。

エ：車いす使用者等の連続した移動を確保することが基本である。

総合解説：移動等円滑化では連続した通行可能性を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0069
園路の縁石を施工する際の重要事項として、最も適切なものはどれか。

ア．通り・高さ・基礎の安定を確保し、隣接舗装との納まりを整える。

イ．基礎を設けず不安定な土上に置くだけ。

ウ．高さを不規則にして排水を阻害する。

エ．隣接舗装との段差を無条件に大きくする。

答え・解説　正答：ア
ア：縁石は舗装端部の保持や区画形成に用いられる。

イ：沈下・転倒・通り不良を招く。

ウ：安全・景観・排水性を損なう。

エ：つまずきや通行障害の原因となる。

総合解説：縁石は構造安定・通り・高さ・排水を確認する。

問題 0070
園路施工後に局部的な沈下が生じた。最も適切な原因確認はどれか。

ア．表層の色だけを確認する。

イ．路床・路盤の締固め不足や排水不良、埋戻し部などを調査する。

ウ．沈下部へ水を溜める。

エ．原因を調べず上から薄く塗装する。

答え・解説　正答：イ
ア：構造的原因を特定できない。

イ：局部沈下は下層の支持条件が不均一な場合に生じやすい。

ウ：悪化させる可能性がある。

エ：再発防止にならない。

総合解説：舗装不具合は表層だけでなく下層・排水条件まで調べる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0071
広場でベンチや照明柱の基礎周囲を舗装する際、最も適切な施工はどれか。

ア．構造物周囲だけ締固めを省略する。

イ．基礎との隙間を残したまま完成とする。

ウ．基礎周囲の締固めと舗装の納まりを丁寧に行い、沈下・段差を防ぐ。

エ．施工後の高さ確認を行わない。

答え・解説　正答：ウ
ア：沈下の原因になる。

イ：水の浸入や段差につながる。

ウ：構造物周囲は締固めが不十分になりやすく局部沈下に注意する。

エ：出来形確認が必要である。

総合解説：構造物取り合い部は局部沈下と段差を重点管理する。

問題 0072
園路と芝生地の境界処理として最も適切な考え方はどれか。

ア．境界は必ず10cm以上の段差とする。

イ．芝が舗装へ侵入しても管理しない。

ウ．排水方向を無視して縁石を連続させる。

エ．利用動線、芝の侵入・土砂流出、維持管理を考えて適切な見切りを設ける。

答え・解説　正答：エ
ア：つまずきやバリアになる。

イ：舗装機能や景観を損なう。

ウ：水が滞留することがある。

エ：境界の納まりは景観だけでなく管理性にも影響する。

総合解説：園路境界は安全・排水・維持管理を両立させる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0073
公園広場の表面材料を選ぶ際、夏季の利用環境へ配慮する考え方として最も適切なものはどれか。

ア．材料の表面温度や照り返し、日陰計画等も考慮する。

イ．温熱環境は公園利用に影響しない。

ウ．黒色舗装だけが必ず最適である。

エ．日陰の有無は広場計画に関係しない。

答え・解説　正答：ア
ア：利用者快適性には熱環境も関係する。

イ：熱中症や快適性に関係する。

ウ：用途・環境に応じて判断する。

エ：休憩・滞在環境に影響する。

総合解説：広場は耐久性だけでなく利用者の熱環境も考慮する。

問題 0074
園路舗装の施工継目を設ける場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．継目位置を毎回無作為に決める。

イ．材料特性や施工区画を踏まえ、弱点や不陸が生じにくい位置・方法とする。

ウ．継目に土砂を詰めて排水を阻害する。

エ．材料特性を問わず継目は一切不要とする。

答え・解説　正答：イ
ア：品質が不均一になりやすい。

イ：継目は耐久性や平坦性に影響するため計画的に設ける。

ウ：不適切な納まりである。

エ：材料・構造により必要な継目がある。

総合解説：施工継目は材料特性と仕上がりを考えて計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0075
遊具の安全確保に関する国土交通省指針の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．遊びのリスクを全てゼロにすることだけを目的とする。

イ．危険性は利用者だけの責任とする。

ウ．遊びに伴うリスクは適切に管理し、事故につながるハザードの除去に努める。

エ．遊具は設置後の点検を行わない。

答え・解説　正答：ウ
ア：遊びの価値とのバランスを取る。

イ：公園管理者等による安全措置が必要である。

ウ：子どもの挑戦の価値を尊重しつつ重大事故につながる物的ハザードを管理する。

エ：維持管理段階の点検が重要である。

総合解説：遊具安全ではリスクとハザードを区別して管理する。

問題 0076
遊具を設置する際の基礎・アンカーについて、最も適切なものはどれか。

ア．利用開始後に自然に固定されるので基礎は不要。

イ．アンカーボルトは緩いほどよい。

ウ．基礎の出来形確認は不要。

エ．設計条件に従い、転倒・移動・緩みが生じないよう確実に施工する。

答え・解説　正答：エ
ア：転倒・移動の危険がある。

イ：接合部の緩みは事故要因となる。

ウ：位置・寸法・埋込み等の確認が必要である。

エ：遊具の構造安全性は本体だけでなく基礎・接合部にも左右される。

総合解説：遊具施工では基礎・接合部まで含めて安全性を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0077
遊具周辺の安全領域を確保する主な理由はどれか。

ア．利用者の動きや転落時に他の施設・障害物へ衝突する危険を減らすため。

イ．遊具同士を可能な限り密着させるため。

ウ．管理面積を増やすことだけが目的。

エ．舗装面積を必ず最大化するため。

答え・解説　正答：ア
ア：遊具の利用動作に必要な空間を確保することが事故防止につながる。
イ：衝突リスクが増える。
ウ：安全性が主目的である。
エ：安全領域とは異なる。
総合解説：遊具周辺は動線・落下・衝突を想定して空間を確保する。

問題 0078
遊具の落下が想定される箇所の地表面として、最も適切な考え方はどれか。

ア．硬いコンクリートだけを必ず使用する。

イ．落下衝撃の低減に配慮した適切な衝撃吸収性を確保する。

ウ．尖った石を敷き詰める。

エ．地表面の状態は遊具事故に関係しない。

答え・解説　正答：イ
ア：落下時の衝撃が大きい。
イ：落下高さや利用形態に応じた安全な地表面が必要である。
ウ：負傷リスクを高める。
エ：落下時の傷害程度へ影響する。
総合解説：遊具下の地表面も遊具安全を構成する重要要素である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0079
遊具の日常点検で最も適切な確認事項はどれか。

ア．塗装色だけを確認する。

イ．事故が起こるまで点検しない。

ウ．部材の破損・変形、腐食・腐朽、緩み、異物などを確認する。

エ．見えない箇所は永久に点検対象外とする。

答え・解説　正答：ウ
ア：安全確認として不十分である。

イ：予防的な点検が必要である。

ウ：利用者が触れる部位や構造部材の異常を早期発見する。

エ：定期点検等で必要な確認を行う。

総合解説：日常点検は物的ハザードの早期発見を目的とする。

問題 0080
遊具点検で重大な破損を発見した場合、最も適切な初動はどれか。

ア．注意して使うよう伝えるだけで継続使用する。

イ．記録せず放置する。

ウ．部材をさらに取り外して開放する。

エ．必要に応じ使用を制限・停止し、補修等の安全措置を講じる。

答え・解説　正答：エ
ア：重大破損なら使用制限等が必要である。

イ：事故防止にならない。

ウ：危険性を増す可能性がある。

エ：ハザードの程度に応じ応急措置と恒久措置を迅速に行う。

総合解説：重大な異常は利用者を危険から隔離して是正する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0081
休憩所を移動等円滑化に配慮して整備する場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．出入口や内部に車いす使用者が円滑に利用できる幅・広さを確保する。

イ．出入口に大きな段差を必ず設ける。

ウ．戸の有効幅を極端に狭くする。

エ．内部の利用空間は考慮しない。

答え・解説　正答：ア
ア：国の基準では休憩所のうち一以上を円滑利用に適した構造とする。

イ：通行障害となる。

ウ：車いす通行が困難になる。

エ：利用可能な広さが必要である。

総合解説：休憩施設は多様な利用者が実際に使える寸法とする。

問題 0082
ベンチを園路沿いに配置する際、最も適切な考え方はどれか。

ア．園路中央へ固定して通行を塞ぐ。

イ．通行を妨げず、休憩利用と車いす等の接近にも配慮して配置する。

ウ．傾斜が大きく転倒しやすい場所を選ぶ。

エ．周囲の利用空間を確保しない。

答え・解説　正答：イ
ア：通行障害となる。

イ：休憩施設は動線を阻害せず多様な利用者が使いやすい配置とする。

ウ：安全な水平面等が望ましい。

エ：乗降・介助等のスペースが必要である。

総合解説：ベンチは座る人だけでなく通行者との関係も考える。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0083
木製ベンチの維持管理で最も適切なものはどれか。

ア．腐朽が進んでも塗装だけで必ず安全になる。

イ．ボルトの緩みは安全性に影響しない。

ウ．腐朽、ささくれ、接合部の緩み等を点検し、必要に応じ補修する。

エ．ささくれは放置する。

答え・解説　正答：ウ
ア：構造強度が失われていれば補修・交換が必要である。

イ：脱落・転倒原因になり得る。

ウ：利用者が直接触れるため表面・構造の双方を点検する。

エ：負傷の原因になる。

総合解説：休憩施設も材料劣化と接合部を継続点検する。

問題 0084
遊具の対象年齢や利用能力に配慮する理由として、最も適切なものはどれか。

ア．年齢と遊具利用は全く関係しない。

イ．大型遊具ほど乳幼児に適する。

ウ．表示やゾーニングは安全に寄与しない。

エ．利用者の身体能力に合わない遊具は、予測・回避が難しい危険を増やすため。

答え・解説　正答：エ
ア：身体能力・認知能力が異なる。

イ：一律ではなく対象年齢との適合が必要である。

ウ：適切な遊具選択の助けとなる。

エ：遊具の難易度や構造は利用者の発達段階との適合が重要である。

総合解説：遊具は想定利用者の発達段階を踏まえて安全を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0085
池や流れの施工で防水層を設ける主な目的として最も適切なものはどれか。

ア．漏水を抑え、計画した水位・水循環を維持するため。

イ．地下へ水を最大限漏らすため。

ウ．舗装を乾燥させるため。

エ．植栽の根を全て枯らすため。

答え・解説　正答：ア
ア：水景施設では躯体・防水・配管の連続性が水密性に影響する。
イ：水量損失や地盤影響の原因になる。
ウ：防水層の目的ではない。
エ：そのような目的ではない。
総合解説：水景施設は水密性を確保して計画水位を維持する。

問題 0086
循環式の池や噴水で水を循環させる効果として、最も適切なものはどれか。

ア．水質管理を一切不要にする。

イ．水の停滞を抑え、ろ過・曝気等の処理と組み合わせて水質を維持しやすくする。

ウ．水温を常に一定値へ固定する。

エ．藻類を永久に発生させない。

答え・解説　正答：イ
ア：循環だけで全ての水質問題は解決しない。
イ：循環設備は水景の見栄えだけでなく水質管理にも利用される。
ウ：通常の循環ポンプだけでは保証できない。
エ：栄養塩・日照等でも発生する。
総合解説：循環設備は水質管理システムの一部として扱う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0087
池のオーバーフロー設備の主な役割として、最も適切なものはどれか。

ア．池の水を常に完全に空にする。

イ．雨水を池へ無制限に貯める。

ウ．降雨や給水過多時の余剰水を安全に排出し、異常な水位上昇を防ぐ。

エ．ポンプへ土砂を送り込む。

答え・解説　正答：ウ
ア：排水口とは役割が異なる。

イ：越流設備は水位制御に用いる。

ウ：水景施設では通常水位と異常時排水を計画する。

エ：機器損傷の原因になる。

総合解説：オーバーフローは異常水位を防ぐ安全な排水経路である。

問題 0088
親水施設の安全計画として最も適切なものはどれか。

ア．水深は深いほど全ての利用に適する。

イ．濡れる床ほど滑りやすさを確認しない。

ウ．転落防止や監視性は考えない。

エ．水深、滑り、転落、見通し、利用者特性などを考慮して設計・施工する。

答え・解説　正答：エ
ア：利用目的や対象者に応じた水深が必要である。

イ：転倒事故の重要要因である。

ウ：施設特性に応じた安全対策が必要である。

エ：水景は景観性と同時に利用安全性を確認する必要がある。

総合解説：親水空間は水深・床面・動線・監視性まで総合して安全を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0089
水景施設のポンプを設置する際、維持管理上最も適切な考え方はどれか。
ア．点検・清掃・交換ができるよう、保守アクセスを確保する。
イ．故障しても取り出せない位置に埋め込む。
ウ．吸込口の清掃を不可能にする。
エ．点検スペースを全て植栽で塞ぐ。

答え・解説　正答：ア
ア：ポンプやろ過設備は定期的な維持管理を前提に配置する。
イ：修繕が困難になる。
ウ：詰まり・性能低下を招く。
エ：保守作業を妨げる。
総合解説：設備計画では施工時だけでなく更新・清掃まで見込む。

問題 0090
噴水のノズル配置を計画する際、風の影響を考慮する理由として最も適切なものはどれか。
ア．風は噴水の水に一切影響しない。
イ．飛沫が園路や利用者、周辺施設へ過度に飛散するのを抑えるため。
ウ．風が強いほど必ず水利用量が減る。
エ．ノズルの方向は周辺利用に関係しない。

答え・解説　正答：イ
ア：飛沫軌跡へ影響する。
イ：噴水は風向・風速により水景形状と周辺への飛散範囲が変わる。
ウ：飛散損失が増える場合がある。
エ：通行者へ水がかかる等の影響がある。
総合解説：噴水計画では周辺動線と卓越風を考慮する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0091
景石を据え付ける施工として、最も適切なものはどれか。

ア．見栄えが良ければ不安定でもよい。

イ．地盤を確認せず表面へ置くだけにする。

ウ．石の安定、見え方、根入れ、周辺地盤を確認し、転倒・沈下しないよう据える。

エ．人が触れる場所ほど鋭利な角を突出させる。

答え・解説　正答：ウ
ア：転倒事故の危険がある。

イ：沈下・傾斜の原因になる。

ウ：景石は修景材料であると同時に重量物であり安定性を確保する必要がある。

エ：利用安全性への配慮が必要である。

総合解説：景石は景観性と構造安定・利用安全を両立させる。

問題 0092
水景施設で電気設備を使用する場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．水中なら電気絶縁の確認は不要。

イ．損傷したケーブルを水中で継続使用する。

ウ．保護装置を外して運転する。

エ．水と電気が近接する条件を踏まえ、感電・漏電防止と保守性を確保する。

答え・解説　正答：エ
ア：感電リスクが高い環境である。

イ：重大事故の原因になる。

ウ：安全機能を失う。

エ：ポンプ・照明等では防水性や漏電保護を含む電気安全が重要である。

総合解説：水景の電気設備は防水・漏電保護・保守を一体で管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0093
都市公園の基本計画を始める際、最初に把握すべき内容として最も適切なものはどれか。
ア．地形・植生・気象などの自然条件と、利用需要・周辺交通などの社会条件を把握する。
イ．施設の色だけを先に決める。
ウ．利用者像を考えず既製施設を並べる。
エ．既存地形を確認せず全面的に造成する。

答え・解説　正答：ア
ア：公園計画は敷地と利用者の条件を踏まえて機能・配置を組み立てるため、基礎調査が出発点となる。
イ：個別意匠より先に敷地・利用条件の把握が必要である。
ウ：利用需要を反映できない。
エ：自然条件を活かせず、施工量や環境影響が増えることがある。
総合解説：造園計画では自然条件と社会条件を統合して計画条件を整理する。

問題 0094
公園のゾーニングを行う主な目的として、最も適切なものはどれか。
ア．すべての施設を入口付近へ集中させる。
イ．利用目的や環境条件が異なる区域を整理し、公園全体として機能的に配置する。
ウ．公園内を意味なく同面積に分割する。
エ．区域間の関係を考えず独立させる。

答え・解説　正答：イ
ア：利用目的や敷地条件によって適切な配置は異なる。
イ：活動的利用、静的利用、自然保全などの性格を整理することで施設・動線を合理的に配置できる。
ウ：ゾーニングは機能・環境に基づく。
エ：ゾーン間の連携や相互影響を考慮する必要がある。
総合解説：ゾーニングは公園全体の機能分担と配置秩序をつくる基本手法である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0095
静かな休養区域と球技広場を隣接配置する場合、計画上最も適切な考え方はどれか。

ア．両区域の利用特性は同じなので対策しない。

イ．休養区域を球技広場の排水先としてだけ利用する。

ウ．騒音や飛球などの相互干渉を検討し、距離・植栽・施設配置等で緩衝する。

エ．球技広場の出入口を休養区域中央に設ける。

答え・解説　正答：ウ
ア：活動強度や騒音特性が異なる。

イ：利用機能と安全性を損なう。

ウ：異なる利用特性のゾーンが隣接する場合は、利用者安全と快適性を両立する緩衝計画が必要である。

エ：動線交錯と干渉が増える。

総合解説：ゾーン配置では各機能の相性と干渉を検討する。

問題 0096
公園の動線計画として、最も適切なものはどれか。

ア．利用者が迷いやすいよう経路を不連続にする。

イ．管理車両と幼児の遊び動線を常時同一にする。

ウ．入口と主要施設の関係を考慮しない。

エ．主要施設を安全かつ分かりやすく連絡し、歩行者・管理車両等の交錯を必要に応じて抑える。

答え・解説　正答：エ
ア：案内性・利用性を低下させる。

イ：接触リスクが高まる。

ウ：利用者の流れを適切に構成できない。

エ：動線計画は安全で円滑な利用と施設相互の連絡を確保するために行う。

総合解説：動線は利用者属性、目的地、管理動線を整理して計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0097
公園の施設配置を検討する際、最も適切なものはどれか。

ア．施設の機能、利用者の動向、敷地条件を踏まえて規模と位置を決める。

イ．全施設を均等間隔に配置する。

ウ．施設の規模は利用者数に関係なく同一にする。

エ．維持管理動線を考慮しない。

答え・解説　正答：ア
ア：施設配置は利用実態と自然条件を反映し、公園全体の機能が発揮されるよう決定する。

イ：利用需要や地形条件を反映できない。

ウ：利用需要に応じた規模設定が必要である。

エ：管理性も施設配置の重要条件である。

総合解説：施設配置は機能・需要・安全・維持管理を総合して決定する。

問題 0098
既存の良好な樹林と起伏を有する敷地で、公園計画として最も適切なものはどれか。

ア．施工しやすさだけを理由に全て伐採・切土する。

イ．既存樹林や地形の価値を評価し、活用できる部分は保全しながら必要な施設を配置する。

ウ．既存樹林内へ全ての大型施設を集中させる。

エ．現況地形を測量せず計画する。

答え・解説　正答：イ
ア：環境・景観価値を失い、施工量も増える可能性がある。

イ：既存自然資源を活かすことは景観・環境保全だけでなく造成量の抑制にもつながり得る。

ウ：根系や生態環境への影響が大きい。

エ：排水・造成・施設配置の精度を確保できない。

総合解説：造園計画では敷地固有の自然資源を資産として評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0099
公園計画でユニバーサルデザインを考慮する際、最も適切な考え方はどれか。

ア．車いす利用者だけを対象とし、他の利用者は考えない。

イ．段差を増やして利用者を分離する。

ウ．年齢や障害の有無等にかかわらず、多様な利用者ができる限り利用しやすい環境を計画する。

エ．完成後に利用できない人が判明しても計画は見直さない。

答え・解説　正答：ウ
ア：ユニバーサルデザインは多様な利用者を対象とする。

イ：移動障害を増やす。

ウ：特定の利用者だけでなく、多様な人の移動・休憩・情報取得等を考慮することが基本である。

エ：利用実態に応じた改善が重要である。

総合解説：造園計画では移動等円滑化とともに、多様な利用者の使いやすさを考える。

問題 0100
公園の防災機能を計画へ取り込む際、最も適切なものはどれか。

ア．全ての公園へ同一規模の防災施設を設ける。

イ．災害時のアクセス経路を考えない。

ウ．平常時の利用を完全に無視する。

エ．地域の防災計画や想定災害を確認し、避難・防災活動に必要な空間や施設を検討する。

答え・解説　正答：エ
ア：公園種別・地域防災上の役割によって必要機能は異なる。

イ：避難・物資搬入等の機能に影響する。

ウ：通常時にも有効利用できる計画が望ましい。

エ：公園の防災機能は地域条件や役割に応じて計画し、平常利用との両立を図る。

総合解説：防災機能は地域計画と公園の日常機能を整合させて検討する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0101
公園施設のライフサイクルを考慮した計画として、最も適切なものはどれか。

ア．初期整備だけでなく、点検・補修・更新のしやすさや維持管理費も考慮する。

イ．建設費が最小なら維持管理性は考慮しない。

ウ．交換できない特殊部材ほど必ず優先する。

エ．点検できない位置へ設備を隠す。

答え・解説　正答：ア
ア：施設は供用後の管理期間が長いため、維持管理性を計画段階で評価することが重要である。

イ：長期費用や安全性が悪化する場合がある。

ウ：調達性・更新性を検討する必要がある。

エ：保守性を低下させる。

総合解説：造園計画は整備時だけでなく、供用後の維持管理・更新まで見通して行う。

問題 0102
利用者調査で、当初想定より高齢者の休憩利用と子どもの遊び利用がともに多いことが分かった。計画の対応として最も適切なものはどれか。

ア．当初案を変更せず利用実態を無視する。

イ．利用実態を踏まえて休憩施設・遊び場・動線・見守りやすさ等を再検討する。

ウ．高齢者か子どもの一方だけを完全に排除する。

エ．全施設を同じ場所へ密集させる。

答え・解説　正答：イ
ア：需要に適合しない施設配置になる。

イ：計画は調査結果を反映し、異なる利用者が安全に共存できる空間構成へ調整する。

ウ：公共公園として多様な利用への配慮を欠く。

エ：利用干渉や安全上の問題が生じることがある。

総合解説：利用調査は施設量だけでなく、ゾーニング・動線・見守り等の計画改善に活かす。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0103
景観構成における「焦点（フォーカルポイント）」の説明として、最も適切なものはどれか。

ア．全ての要素を同じ強さで目立たせること。

イ．園路を必ず直角に曲げること。

ウ．視線を引き付ける樹木・景石・彫刻等を要所に配置し、空間の目印や印象をつくる。

エ．背景を全て撤去すること。

答え・解説　正答：ウ
ア：焦点が不明確になる。

イ：焦点の定義ではない。

ウ：焦点は視線誘導や場所の識別性を高めるために用いられる。

エ：背景との対比で焦点を形成する場合もある。

総合解説：景観要素の強弱をつけることで視線と空間認識を導くことができる。

問題 0104
並木を直線的に配置することで生まれやすい景観効果として、最も適切なものはどれか。

ア．視線の方向性を完全になくす。

イ．空間のスケール感を必ず消失させる。

ウ．樹種に関係なく景観を無秩序にする。

エ．方向性や軸線を強調し、視線を誘導する。

答え・解説　正答：エ
ア：並木は方向性を強めることが多い。

イ：樹高・間隔によりスケール感を形成する。

ウ：整然とした反復景観をつくることができる。

エ：反復する樹木列は空間の方向性を明確にし、奥行き感を形成する。

総合解説：軸線・反復・リズムは景観構成の基本要素である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0105
小規模な休憩広場に高木や生垣を適度に配置することで得られる効果として、最も適切なものはどれか。

ア．空間に適度な囲まれ感を与え、落ち着いた滞在空間を形成できる。

イ．必ず完全な閉鎖空間にしなければならない。

ウ．植栽は空間感覚に影響しない。

エ．広場中心を全て高木で埋めるほど利用性が高まる。

答え・解説　正答：ア
ア：植栽による境界のつくり方で開放感と閉鎖感を調整できる。

イ：目的に応じた囲繞度の調整が必要である。

ウ：高さ・密度・位置で大きく変化する。

エ：活動空間を失う可能性がある。

総合解説：景観構成では視覚的な囲繞性と実際の利用空間を両立させる。

問題 0106
大きな記念碑の前景に極端に大きい樹木を密植した結果、記念碑がほとんど見えなくなった。景観上の問題として最も適切なものはどれか。

ア．記念碑は大きいほど必ず隠すべきである。

イ．主対象と周辺要素のスケール・視認性のバランスが崩れている。

ウ．樹木と構造物の大きさは景観に関係しない。

エ．視点場からの見え方は検討不要である。

答え・解説　正答：イ
ア：主景の意図に反する。

イ：主景となる対象を活かすには周辺植栽の高さ・量・視距を調整する必要がある。

ウ：比例・尺度は景観印象に大きく影響する。

エ：景観計画では視点と視対象の関係が重要である。

総合解説：スケール・プロポーション・視認性は景観要素の調和を判断する重要な観点である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0107
園路を歩くにつれて景色が連続的に変化する「シークエンス景観」をつくる方法として、最も適切なものはどれか。

ア．全区間で全く同じ景色だけを見せる。

イ．利用者の移動方向を考慮しない。

ウ．曲線、植栽の開閉、見通しの変化などを組み合わせて連続する場面を構成する。

エ．園路から全ての景観要素を遮断する。

答え・解説　正答：ウ
ア：変化のある連続景観にならない。

イ：シークエンスは移動体験と密接に関係する。

ウ：移動に伴う視界の開閉や焦点の変化によって体験的な景観をつくる。

エ：視覚体験を構成できない。

総合解説：景観は静止した一地点だけでなく、移動による時間的変化でも構成される。

問題 0108
公園外の山並みを園内景観の背景として活かす「借景」を計画する際、最も適切なものはどれか。

ア．山並みを全て高い施設で遮る。

イ．視点位置に関係なくどこからでも同じ景観になると考える。

ウ．背景との関係を考えず園内要素だけを計画する。

エ．主要な視点場と視線方向を定め、山並みを遮る要素の配置を調整する。

答え・解説　正答：エ
ア：借景の効果を失う。

イ：見え方は視点位置で変化する。

ウ：借景では園外景観との関係が中心となる。

エ：借景では園外の景観資源を園内構成と一体的に見せる視線計画が重要である。

総合解説：借景は視点・視対象・前景・中景の関係を計画する景観手法である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0109
公園内から見える資材置場を修景する方法として、最も適切なものはどれか。

ア．利用者の主要視点を確認し、植栽や塀等で必要な範囲を遮蔽する。

イ．視点に関係なく資材置場の反対側だけに植栽する。

ウ．遮蔽植栽の将来樹高・密度を考慮しない。

エ．出入口まで完全に塞いで管理不能にする。

答え・解説　正答：ア
ア：遮蔽は見せたくない対象と視点の関係を確認して効果的に配置する。

イ：利用者側からの遮蔽効果が得られない。

ウ：成長後の効果や維持管理に影響する。

エ：機能性との両立が必要である。

総合解説：修景では景観改善と施設機能・維持管理を両立する。

問題 0110
歴史的な庭園周辺で新しい休憩施設を設置する際、景観上最も適切な考え方はどれか。

ア．周辺景観と無関係な大型広告色を優先する。

イ．周辺の歴史的景観の特徴を把握し、形態・色彩・素材・規模の調和を図る。

ウ．歴史的景観は新設施設の意匠に関係しない。

エ．古い材料を使えば安全性や機能は考慮不要である。

答え・解説　正答：イ
ア：景観調和を損なう可能性が高い。

イ：地域固有の景観特性を尊重しつつ、新設施設が過度に突出しないよう調整する。

ウ：景観形成上重要な文脈である。

エ：景観と安全・機能の両立が必要。

総合解説：景観形成では周辺の文脈を読み取り、意匠要素の調和を図る。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0111
展望地点から象徴的な樹木への眺望を確保したい。一方、その間に新設施設も必要である。最も適切な計画はどれか。

ア．眺望を確認せず最も高い施設を視線上に置く。

イ．象徴樹木を移植して施設だけを優先する。

ウ．視線解析を行い、眺望軸を確保できる位置・高さ・形態で施設を配置する。

エ．平面図だけで高さ関係を一切確認しない。

答え・解説　正答：ウ
ア：視対象を遮る。

イ：景観資源の価値を損なう可能性がある。

ウ：重要な視対象を活かすには、施設機能と視線の両方を定量・現地確認して調整する必要がある。

エ：眺望は立体的な高さ関係に左右される。

総合解説：重要眺望では平面・断面・現地視認を組み合わせて視線を管理する。

問題 0112
公園整備区域に既存の良好な樹林がある場合、自然環境保全の観点から最も適切なものはどれか。

ア．調査せず全て伐採してから計画する。

イ．樹木の幹だけ残し根域を全面舗装する。

ウ．既存植生は計画条件に含めない。

エ．樹林の生態的・景観的価値を調査し、保全すべき範囲を計画へ反映する。

答え・解説　正答：エ
ア：保全価値を評価できない。

イ：根系環境を損なう。

ウ：自然環境保全の基礎情報である。

エ：既存自然を把握して保全・活用することは、生物多様性と地域景観の維持につながる。

総合解説：自然環境保全は既存環境の把握から始める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0113
分断された2つの緑地を街路樹や水辺緑地でつなぐことに期待される効果として、最も適切なものはどれか。

ア．生物の移動・分散を助け、生態系ネットワークの連続性を高める。

イ．全ての生物の移動を完全に停止させる。

ウ．都市の緑地を互いに孤立させる。

エ．生物多様性とは無関係である。

答え・解説　正答：ア
ア：孤立した生息地を緑地や水辺で連結することは、生態系ネットワーク形成に有効である。
イ：目的は連続性の確保である。
ウ：分断を緩和する考え方と逆である。
エ：生息・移動空間の確保に関係する。
総合解説：緑地の量だけでなく、配置・連続性も生物多様性に重要である。

問題 0114
地域の自然環境に調和した植栽を計画する際、最も適切なものはどれか。

ア．地域条件に関係なく同一の樹種だけを全国で使う。

イ．地域の気候・土壌・既存植生を確認し、地域に適応した植物を選定する。

ウ．既存植生を確認せず見た目だけで決める。

エ．生育可能性より購入価格だけを優先する。

答え・解説　正答：イ
ア：地域適応性を無視している。
イ：地域環境に適した植物は定着しやすく、周辺生態系との調和にもつながる。
ウ：自然環境との整合を判断できない。
エ：長期的な健全性を損なう可能性がある。
総合解説：植物選定では地域性・適地性を重視する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0115
特定外来生物に指定された植物を工事区域で発見した場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．通常の植栽材料として周辺へ配布する。

イ．種子が付いた土を別地域へ自由に搬出する。

ウ．法令上の取扱いを確認し、拡散させないよう適切な防除・運搬等の手続きを行う。

エ．外来種であれば全て無条件に同じ処理をする。

答え・解説　正答：ウ
ア：拡散を助長し、法令上問題となる。
イ：分布拡大につながるおそれがある。
ウ：特定外来生物は生態系等への被害防止のため取扱いが規制されている。
エ：指定状況や種の特性を確認する必要がある。
総合解説：外来種対策では種の同定と法的区分、拡散防止を確認する。

問題 0116
雨庭や浸透性のある緑地を都市公園に導入する効果として、最も適切なものはどれか。

ア．降雨を全て直ちに下水へ集中させることだけが目的である。

イ．土壌条件や排水能力は一切確認しない。

ウ．常時冠水させればどの植物にも適する。

エ．雨水の一時貯留・浸透を促し、水循環や流出抑制に寄与する。

答え・解説　正答：エ
ア：貯留・浸透による流出抑制を図る。
イ：浸透能力・地下水・施設条件の確認が必要。
ウ：植栽は水分条件に適合させる必要がある。
エ：緑地を活用した雨水管理はグリーンインフラの一例として活用される。
総合解説：都市緑地は生物多様性だけでなく、雨水管理や暑熱緩和等の多面的機能を持つ。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0117
野鳥の繁殖が確認されている樹林で大規模な伐採・剪定を行う場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．繁殖状況や時期を確認し、必要に応じ作業時期・範囲を調整する。

イ．生物の繁殖時期は施工計画に関係しない。

ウ．巣が確認されても必ず即時伐採する。

エ．工期だけを理由に環境調査結果を無視する。

答え・解説　正答：ア
ア：施工時期を調整することで生息・繁殖への影響を低減できる場合がある。

イ：重要な環境条件となり得る。

ウ：必要性と環境影響を検討する。

エ：保全措置を施工計画に反映する必要がある。

総合解説：自然環境保全では施工時期も有効な影響低減手段となる。

問題 0118
夜間照明を自然度の高い水辺付近へ設置する場合、自然環境保全上最も適切なものはどれか。

ア．水辺全域を一晩中最大光量で照らす。

イ．必要な照度を確保しつつ、照射方向・時間・光量を調整して生物への過度な影響を抑える。

ウ．光の方向は生物に影響しない。

エ．安全性を無視して全照明を撤去する。

答え・解説　正答：イ
ア：必要以上の光は生物や周辺環境へ影響する可能性がある。

イ：夜間照明は昆虫・鳥類等の行動に影響する場合があり、安全と環境の両面を検討する。

ウ：照射範囲を限定することは影響低減策となる。

エ：利用者安全との両立が必要である。

総合解説：環境保全では施設利用に必要な機能を維持しながら影響を最小化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0119
工事中に保全対象樹木の根域内へ重機が繰り返し進入している。最も適切な対応はどれか。

ア．幹に傷がなければ根域の踏圧は問題ない。

イ．根域を資材置場として優先利用する。

ウ．保護範囲を明示して重機進入・資材堆積を避け、土壌圧密と根系損傷を防ぐ。

エ．保護対象であっても掘削範囲を記録しない。

答え・解説　正答：ウ
ア：土壌圧密により根の通気・伸長を阻害する。
イ：荷重・踏圧が増える。
ウ：根系は幹から離れた範囲にも広がるため、地上部だけでなく根域を保護する必要がある。
エ：影響範囲の管理ができない。
総合解説：自然環境保全では施工中の仮設・重機動線も保全計画に含める。

問題 0120
公園整備後の生物多様性保全を評価する方法として、最も適切なものはどれか。

ア．完成検査後は自然環境の変化を一切確認しない。

イ．目標を設定せず写真を1枚残すだけにする。

ウ．想定と異なる変化があっても管理方法を固定する。

エ．目標とした植生や指標生物等を継続的にモニタリングし、結果に応じ管理方法を見直す。

答え・解説　正答：エ
ア：生態系は時間とともに変化する。
イ：評価基準がなく効果を判断しにくい。
ウ：モニタリング結果を改善へ活用できない。
エ：整備時点だけでなく供用後の状態を確認し、順応的に管理することが重要である。
総合解説：自然環境の管理は、目標設定・モニタリング・評価・改善を繰り返すことが有効である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0121
植栽材料を現場で受け入れる際、最も適切な確認はどれか。

ア．樹種・規格・数量に加え、樹勢、病害虫、根鉢や幹枝の損傷状態を確認する。

イ．納品書だけ確認し現物を見ない。

ウ．樹種が違っても高さが同じなら受け入れる。

エ．根鉢が崩壊していても数量だけ合えばよい。

答え・解説　正答：ア
ア：植栽材料は寸法だけでなく健全性が活着と完成品質に直結する。

イ：現物の損傷や品質不良を確認できない。

ウ：設計要求を満たさない。

エ：活着に重大な影響がある。

総合解説：材料受入では設計規格と植物としての健全性を両方確認する。

問題 0122
植栽予定位置の地中に瓦礫や締固め層が確認された。植付け前の対応として最も適切なものはどれか。

ア．根が自力で瓦礫を押し出すためそのまま植える。

イ．根の生育を阻害する物を除去し、必要な範囲の植栽基盤を整備する。

ウ．根鉢だけ入る最小穴を硬盤に掘る。

エ．地中条件を記録せず土で覆う。

答え・解説　正答：イ
ア：根系の伸長を妨げる。

イ：根域環境が不適切なまま植えても、材料が良好でも生育不良となる。

ウ：周辺へ根が伸びにくい。

エ：問題を残したままになる。

総合解説：植栽施工では植物材料と植栽基盤を一体として品質管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0123
大径木をクレーンで吊り込む際、最も適切な施工はどれか。

ア．幹の一点だけへ細いワイヤを直接掛ける。

イ．根鉢を地面へ引きずって位置調整する。

ウ．吊り位置と保護材を適切に設定し、幹・枝・根鉢を損傷させず安定して吊る。

エ．吊荷の下へ作業員を常時配置する。

答え・解説　正答：ウ
ア：樹皮損傷や荷重集中の危険がある。

イ：根鉢崩壊や根損傷を招く。

ウ：重量物である根鉢を確実に支持し、樹皮や枝への局部荷重を避ける。

エ：吊荷落下時の重大事故につながる。

総合解説：大径木施工では植栽品質と揚重安全を同時に確保する。

問題 0124
樹木を植穴へ据え付ける際、根鉢周囲に大きな空隙が残らないようにする理由として最も適切なものはどれか。

ア．空隙が大きいほど根の支持力が高まるため。

イ．空隙へ常時空気だけを送り込むため。

ウ．根鉢を地表へ浮かせるため。

エ．根と土の接触を良くし、乾燥や不均一な沈下を防ぎやすくするため。

答え・解説　正答：エ
ア：支持が不安定になる。

イ：根域には水分と空気の適切なバランスが必要。

ウ：植付け高さが不適切になる。

エ：埋戻し土を適切になじませることは活着と樹木の安定に重要である。

総合解説：据付け・埋戻し・水極めは一連の活着確保施工として管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0125
植付け直後の支柱を設置する際、最も適切なものはどれか。

ア．風荷重や樹木の大きさに合う形式とし、根鉢の過度な動揺を抑えつつ幹を傷めないよう結束する。

イ．結束材を幹へ食い込むほど強く締める。

ウ．支柱自体を不安定な軟弱土へ浅く置く。

エ．樹木の大きさに関係なく全て同じ支柱形式にする。

答え・解説　正答：ア
ア：支柱は活着までの支持と樹体保護を両立する必要がある。
イ：幹の肥大に伴い損傷する。
ウ：支持機能を確保できない。
エ：必要強度や景観条件が異なる。
総合解説：支柱は樹木・現場条件に適合させ、活着後の点検・撤去も考える。

問題 0126
植付け後のマルチングの効果として最も適切なものはどれか。

ア．幹元を厚く密閉するほど必ずよい。

イ．地表からの水分蒸発を抑え、雑草抑制や地温変化の緩和に役立つ。

ウ．排水不良を必ず解消できる。

エ．施した後は灌水管理が永久に不要になる。

答え・解説　正答：イ
ア：幹元の過湿・腐朽を招くことがある。
イ：適切なマルチングは根域環境の安定に有効である。
ウ：地下排水や土壌構造の問題は別に対策する。
エ：土壌水分の確認は必要である。
総合解説：マルチングは材料・厚さ・幹元との距離を適切に管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0127
夏季の高温期にやむを得ず移植する場合、最も適切な施工管理はどれか。

ア．根鉢を長時間直射日光下で乾燥させる。

イ．植付け後の灌水を停止する。

ウ．掘取りから植付けまでの時間を短くし、根鉢の乾燥防止、適切な灌水・養生を強化する。

エ．樹種や樹勢に関係なく全葉を除去する。

答え・解説　正答：ウ
ア：細根の乾燥が進み活着率が低下する。
イ：水分不足を助長する。
ウ：高温期は蒸散負荷が大きく、根系損傷後の水分収支が悪化しやすい。
エ：過度な剪葉は樹勢を損なうことがある。
総合解説：適期外植栽では環境ストレスを減らす施工・養生を追加する。

問題 0128
植栽施工中に既存保存樹の根を誤って太く切断した。最も適切な対応はどれか。

ア．土を戻して記録せず隠す。

イ．残った根も全て切断する。

ウ．地上部に異常が見えないため影響なしと断定する。

エ．損傷状況を確認・記録し、必要な処置と施工方法の見直しを関係者と協議する。

答え・解説　正答：エ
ア：安全性・健全性の評価ができない。
イ：被害を拡大する。
ウ：根の影響は時間差で現れることがある。
エ：根の損傷は樹勢・安定性に影響するため、独断で隠さず影響を評価する必要がある。
総合解説：保存樹周辺施工では根系損傷を予防し、事故時は記録・評価・是正につなげる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0129
土壌改良材を植栽基盤へ混合する際、最も適切な施工はどれか。
ア．設計・仕様で定めた材料と量を確認し、対象土へ均一になるよう混合する。
イ．多いほど良いとして指定量の数倍を投入する。
ウ．一箇所へ固めて根鉢へ直接接触させる。
エ．現地土の状態を確認せず材料名だけで施工する。

答え・解説　正答：ア
ア：改良材は種類・使用量・混合状態が植栽基盤品質に影響する。
イ：過剰施用は生育障害を招くことがある。
ウ：濃度障害等の原因になる。
エ：改良目的と土壌条件の確認が必要である。
総合解説：土壌改良は設計配合と施工の均一性を管理する。

問題 0130
列植する樹木の施工で、完成景観の品質を確保するために最も重要なものはどれか。
ア．各樹木の方向を無作為に決める。
イ．植付け位置、間隔、樹高・枝張りのバランス、見付け方向を確認して調整する。
ウ．設計位置から大きくずれても本数だけ合わせる。
エ．樹高差が大きくても確認しない。

答え・解説　正答：イ
ア：列としての統一感を損なう。
イ：列植は個体単体の品質だけでなく、連続した並びとしての出来形が重要である。
ウ：出来形を満たさない。
エ：景観品質に影響する。
総合解説：造園施工では位置・寸法に加え、植栽群としての景観品質も管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0131
植付け後に樹木の根鉢周辺だけが繰り返し冠水している。最も適切な対応はどれか。

ア．冠水しているほど活着が良いとして放置する。

イ．幹へ土を追加して深植えにする。

ウ．排水不良の原因を確認し、根域が長期滞水しないよう排水・地盤条件を是正する。

エ．排水先を閉鎖する。

答え・解説　正答：ウ
ア：過湿障害の可能性がある。

イ：根元環境をさらに悪化させることがある。

ウ：多くの樹木では長期滞水が根の酸欠や腐敗につながる。

エ：滞水を悪化させる。

総合解説：植栽施工後も排水状態を確認し、過湿・過乾燥を防ぐ。

問題 0132
大径木移植で根回し後に十分な細根形成が確認できないまま本移植時期が迫った。最も適切な判断はどれか。

ア．工程を守るため根系状態を無視して必ず移植する。

イ．細根が少ないほど移植に有利と判断する。

ウ．根鉢を縮小して残った細根も減らす。

エ．樹勢・根系・季節・工程を再評価し、必要なら移植時期や養生計画を見直す。

答え・解説　正答：エ
ア：活着不良リスクが高まる。

イ：移植後の吸水能力が不足する。

ウ：活着条件を悪化させる。

エ：大型樹木は一度の失敗による損失が大きいため、工程優先ではなく活着可能性を評価する必要がある。

総合解説：大径木移植では事前準備の成果を確認し、工程と植物生理を総合判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0133
施設施工を開始する前に最も適切な確認事項はどれか。

ア．設計図書、現地位置、既設物、施工順序、必要な基準類を確認する。

イ．図面を確認せず現場の空いている場所へ施工する。

ウ．既設配管は施工後に確認する。

エ．関連工種との取り合いは完成後に調整する。

答え・解説　正答：ア
ア：施設工事は地上・地下の取り合いが多いため、施工前照合が手戻り防止に重要である。

イ：設計位置を満たさない。

ウ：損傷事故につながる。

エ：施工不能や手戻りを招く。

総合解説：施設施工では着手前の設計・現地・他工種照合が基本である。

問題 0134
ベンチ基礎を施工する際、最も適切なものはどれか。

ア．地盤が軟弱でも基礎寸法を確認せず設置する。

イ．所定の位置・高さ・基礎寸法と地盤状態を確認し、沈下や傾斜が生じないよう施工する。

ウ．完成後の座面高さだけ合えば基礎位置は任意でよい。

エ．アンカー位置のずれは固定強度に影響しない。

答え・解説　正答：イ
ア：沈下・傾斜の原因となる。

イ：休憩施設でも基礎の不陸・沈下は利用安全と景観品質に影響する。

ウ：設計位置・動線との整合が必要。

エ：接合不良を招く可能性がある。

総合解説：小規模施設でも基礎・アンカー・出来形の管理が重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0135
コンクリート製施設基礎を打設した直後の養生として、最も適切なものはどれか。

ア．表面を急速に乾燥させるほど強度が上がる。

イ．低温時に凍結しても問題ない。

ウ．所要の強度発現に必要な温度・湿潤状態を保ち、早期乾燥や凍結等を防ぐ。

エ．型枠を直ちに全て撤去する。

答え・解説　正答：ウ
ア：初期乾燥は水和を妨げひび割れ原因にもなる。
イ：初期凍害の危険がある。
ウ：コンクリートは打設後の養生条件によって強度・耐久性が左右される。
エ：必要な強度・支持条件を確認する必要がある。
総合解説：施設基礎では打設だけでなく養生までを品質管理する。

問題 0136
園路沿いの排水ますを施工する際、最も適切な出来形はどれか。

ア．舗装面より高くして水が流入しないようにする。

イ．ます周囲を沈下しやすい状態のまま仕上げる。

ウ．排水方向に関係なく任意位置へ設置する。

エ．周辺舗装の勾配と整合し、雨水が集水される高さ・位置に施工する。

答え・解説　正答：エ
ア：集水できず滞水の原因となる。
イ：不陸や水たまりを生じる。
ウ：計画排水機能を満たさない。
エ：排水施設は図面寸法だけでなく、周囲の仕上げ高さとの取り合いが機能を左右する。
総合解説：施設施工では単体の出来形だけでなく周辺との機能的な取り合いを確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0137
鋼製手すりを屋外に設置する際、耐久性確保として最も適切なものはどれか。

ア．防食処理の仕様を守り、切断・溶接・取付けで被膜を損傷した部分も適切に補修する。

イ．めっきや塗装の傷は見えなければ放置する。

ウ．異種金属の接触は腐食に影響しない。

エ．水が溜まる納まりほど耐久性が高い。

答え・解説　正答：ア
ア：屋外鋼材は水分等にさらされるため、施工時の防食被膜の連続性が重要である。

イ：局部腐食の起点となる。

ウ：条件により異種金属接触腐食が生じる。

エ：滞水は腐食を促進しやすい。

総合解説：防食は材料選定だけでなく、施工時の傷・水仕舞いまで管理する。

問題 0138
木製デッキを施工する際、耐久性の観点から最も適切なものはどれか。

ア．木材が常時湿潤するよう地面へ密着させる。

イ．排水・通風を確保し、木口や接合部に水が長時間滞留しにくい納まりとする。

ウ．接合部へ水が溜まる凹部を意図的に設ける。

エ．防腐処理材なら施工後の点検は不要である。

答え・解説　正答：イ
ア：腐朽リスクが高まる。

イ：木材の耐久性は防腐処理だけでなく、乾燥しやすい構造的な水仕舞いにも左右される。

ウ：乾燥しにくくなる。

エ：割れ・腐朽・接合部の緩み等の点検が必要。

総合解説：木製施設は材料・構造・排水・維持管理を組み合わせて耐久性を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0139
遊具の基礎コンクリート上面が、設計より高く露出していることが判明した。最も適切な対応はどれか。

ア．本体が固定されていれば基礎形状は一切関係ない。

イ．露出部へ鋭利な部材を追加する。

ウ．利用者への衝突・転倒等の危険や設計基準との適合を確認し、必要な是正を行う。

エ．完成写真に写らないよう土だけ薄く掛ける。

答え・解説　正答：ウ
ア：利用者が接触する危険がある。

イ：危険性を増す。

ウ：遊具周辺では基礎の露出自体がハザードとなる場合があるため、安全領域と地表面を含めて評価する。

エ：原因と適合性を確認した是正にならない。

総合解説：遊具施工では構造安全に加え、利用者が接触する周辺環境まで完成状態を確認する。

問題 0140
異なる材料が接する舗装・縁石の取り合い部を施工する際、最も適切な考え方はどれか。

ア．材料特性の違いは無視して完全に一体化する。

イ．境界に大きな段差を残す。

ウ．排水方向を遮るよう継目を高くする。

エ．材料の収縮・変形特性や排水を考慮し、段差・ひび割れが生じにくい納まりとする。

答え・解説　正答：エ
ア：ひび割れや剥離の原因になる場合がある。

イ：つまずきや維持管理上の問題となる。

ウ：滞水の原因となる。

エ：異種材料の境界は変形差が集中しやすく、継目・基礎・高さ管理が重要である。

総合解説：施設施工の弱点になりやすい取り合い部は、変形・排水・安全を重点管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0141
複数の施設工種が狭い区域に集中し、配管・基礎・植栽根鉢が干渉することが施工前に判明した。最も適切な対応はどれか。

ア．各工種の高さ・位置・施工順序を照合し、必要な調整を設計関係者と協議してから施工する。

イ．最初に着手した工種を優先し、他工種を現場判断で移動する。

ウ．干渉しても全工種を同時に施工する。

エ．完成後に干渉部分だけ切断する。

答え・解説　正答：ア
ア：複合する施設では干渉調整を着手前に行うことで手戻り・損傷・品質低下を防げる。

イ：設計意図や機能を損なう可能性がある。

ウ：施工不能や損傷につながる。

エ：安全・品質を確保できない。

総合解説：施設施工では平面だけでなく高さ方向と施工順序まで含む取り合い調整が重要である。

問題 0142
公園樹木の病害虫管理で、最初に行うこととして最も適切なものはどれか。

ア．被害の有無にかかわらず毎月一律に農薬を散布する。

イ．日常的に樹木を観察し、病害虫の発生や被害を早期に把握する。

ウ．樹種を確認せず全て同じ病害虫と判断する。

エ．被害が拡大するまで観察しない。

答え・解説　正答：イ
ア：不要な農薬使用を避ける考え方に反する。

イ：農林水産省は公園等で定期的な一律農薬散布を避け、日常観察による早期発見を重視している。

ウ：症状や加害生物は樹種によって異なる。

エ：早期発見・早期対応が重要である。

総合解説：病害虫管理は予防・観察・診断を基礎に必要最小限の防除を選択する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0143
害虫が一部の枝に限局して発生している場合、農薬散布前に検討する対策として最も適切なものはどれか。

ア．被害範囲に関係なく公園全域へ散布する。

イ．害虫の種類を確認せず薬剤を混用する。

ウ．被害枝の剪定や捕殺など、物理的な防除で対応できるか検討する。

エ．被害枝を放置して散布量だけ増やす。

答え・解説　正答：ウ
ア：必要最小限の防除という考え方に反する。
イ：適用対象・使用基準の確認が必要。
ウ：公共施設では被害状況に応じ、農薬に頼らない防除を最大限検討する。
エ：発生源の除去等を組み合わせる方が合理的な場合がある。
総合解説：病害虫防除では発生範囲と被害程度に応じて物理的・生物的・化学的手段を選ぶ。

問題 0144
公園でやむを得ず農薬を散布する場合、最も適切なものはどれか。

ア．適用作物・樹種を確認せず使用する。

イ．風が強いほど広範囲へ散布する。

ウ．散布区域への立入りや周辺への周知を一切考えない。

エ．登録内容・使用方法を守り、必要最小限の範囲とし、利用者等への影響低減に配慮する。

答え・解説　正答：エ
ア：登録された使用基準を守る必要がある。
イ：飛散リスクが高まる。
ウ：利用者への曝露防止措置が必要となる。
エ：公園等の人が頻繁に訪れる場所では、農薬の適正使用と周辺への配慮が特に重要である。
総合解説：農薬使用は法令・ラベルの遵守に加え、公共空間としての利用者安全を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0145
樹木の葉が黄化している場合の診断として、最も適切な考え方はどれか。
ア．病害だけと決めつけず、根傷み、過湿・乾燥、養分、病害虫など複数原因を確認する。
イ．黄化は必ず同一の病原菌だけが原因である。
ウ．葉だけを見て根域や土壌は確認しない。
エ．原因確認前に全樹木へ同じ薬剤を散布する。

答え・解説　正答：ア
ア：同じ症状でも原因が異なるため、発生部位・経過・環境条件を合わせて診断する。
イ：生理障害や根系障害でも起こる。
ウ：環境条件は重要な診断情報である。
エ：原因に合わない処置となる可能性がある。
総合解説：樹木診断では「症状」と「原因」を区別して総合的に判断する。

問題 0146
樹幹の地際に大型のキノコが発生し、幹に空洞音も認められた。最も適切な対応はどれか。
ア．キノコがあるほど幹の強度は高いと判断する。
イ．腐朽等による倒伏リスクを疑い、利用状況を踏まえ必要な詳細診断・安全措置を行う。
ウ．公園利用者が多くても経過を記録せず放置する。
エ．空洞音があっても外観が緑なら健全と断定する。

答え・解説　正答：イ
ア：腐朽菌の子実体である場合があり注意が必要。
イ：国土交通省の樹木点検指針では、幹・大枝・地際のキノコ等は重要な点検項目である。
ウ：危険性に応じた措置が必要である。
エ：内部欠陥の可能性を評価する必要がある。
総合解説：樹木診断では活力だけでなく、構造的な倒伏・落枝リスクを評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0147
園路沿いの高木で大枝の枯損と幹基部の空洞が見つかった。樹木診断につなげる初動として最も適切なものはどれか。

ア．葉色だけを見て、幹や根元の異常は確認しない。

イ．異常を見つけても記録せず、利用者動線を変えない。

ウ．枝の枯損、空洞、腐朽、根元の異常などを確認し、落枝・倒木の危険度に応じて立入制限や精密診断を行う。

エ．危険枝が歩道上にあっても次年度の定期点検まで放置する。

答え・解説　正答：ウ
ア：誤り。樹木点検は外観だけでなく安全リスクと利用者動線を含めて対応する必要がある。
イ：誤り。樹木点検は外観だけでなく安全リスクと利用者動線を含めて対応する必要がある。
ウ：正しい。事故リスクのある異常は部位・程度・周辺利用状況を踏まえて即時安全措置と診断へつなげる。
エ：誤り。樹木点検は外観だけでなく安全リスクと利用者動線を含めて対応する必要がある。
総合解説：樹木の異常を発見した場合は利用者安全を優先し、危険度に応じた応急措置と詳細診断を組み合わせる。

問題 0148
樹木の定期点検で「診断が必要」と判定された場合、最も適切な対応はどれか。

ア．点検判定を無視して通常管理だけを続ける。

イ．点検担当者の印象だけで伐採を即決する。

ウ．診断結果は記録しない。

エ．専門的な知識を有する者による診断を実施し、必要な措置を検討する。

答え・解説　正答：エ
ア：重大な異常を見逃す可能性がある。
イ：価値・危険性・診断結果を総合して措置を判断する。
ウ：継続管理に必要な情報である。
エ：点検はスクリーニング、診断は危険性や健全性をより詳しく評価する段階として整理される。
総合解説：樹木管理では日常点検・定期点検・診断・措置を段階的につなげる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0149
樹木の危険度を判断する際、最も適切な考え方はどれか。

ア．樹体の欠陥だけでなく、倒伏・落枝した場合に人や施設へ及ぼす影響も考慮する。

イ．樹体の欠陥だけで周辺利用状況は見ない。

ウ．大木なら必ず危険木、小木なら必ず安全とする。

エ．歴史的価値が高ければ安全対策は不要とする。

答え・解説　正答：ア
ア：同じ欠陥でも利用頻度や周辺施設によってリスクの大きさは変わる。

イ：事故リスクは対象物・利用者の存在にも左右される。

ウ：大きさだけで一律判断できない。

エ：価値を考慮しつつ安全確保が必要である。

総合解説：樹木安全管理では「発生可能性」と「結果の重大性」の双方を考える。

問題 0150
同じ樹木について複数年の点検記録を残す意義として、最も適切なものはどれか。

ア．過去記録があると現地点検は不要になる。

イ．傾斜、腐朽、樹勢等の変化を比較し、進行性を把握して措置判断に活用できる。

ウ．記録は樹種名だけで十分である。

エ．状態が悪化しても記録比較は措置判断に関係しない。

答え・解説　正答：イ
ア：現在状態の確認は必要である。

イ：単年の状態だけでなく経時変化を確認することで、劣化・回復の傾向を判断しやすくなる。

ウ：異常部位・写真・措置等の情報が管理に有用である。

エ：変化速度は優先度判断の重要情報である。

総合解説：樹木診断は単発評価ではなく、記録を蓄積して継続管理することで精度が高まる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き無断転載・再配布・販売・第三者配布・教材への無断利用は禁止。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/